

施策番号	0803		
施策名	京都の強みを生かした事業環境の整備		
概要	京都の強みを生かした産業振興を進めるため、産業支援機関の多様な支援機能を融合することで、京都市産業技術研究所等のさらなる支援機能強化を図る。また、大学、経済団体等との強固なネットワークを構築し、産業科学技術研究拠点の整備や企業立地促進施策の充実など、新たな産業集積を生み出す魅力ある事業環境を整備する。		
担当局・部室	産業観光局・新産業振興室	共管局・部室	
上位政策	8 産業・商業		
施策に関係する主な分野別計画等	京都市新価値創造ビジョン		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		23年度	24年度	25年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト
1	正規雇用者増加数(人)	a	a	332	174	224	77.7%	b	1.00
2	産業技術研究所における企業・事業所からの依頼試験・技術相談の実施件数(件)	-	a	11,320	13,168	12,000	109.7%	a	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		25年度回答					有効回答者数	評価
		そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない		
1	京都では、産業界・大学・行政などが連携して、企業の誘致や事業環境の整備を進めている。	35 7.6%	207 45.0%	148 32.2%	48 10.4%	22 4.8%	460	b
2	-							-
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						b



- そう思う
- どちらかと言うとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言うとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている					
	重み付け	☒ 客観指標	a	☐ 市民の実感	b	
(重み付けの理由) 本施策は、京都の強みを生かした事業環境の整備を目的としているため、市内企業への貢献度合いや雇用者の増加を重視して評価する方が妥当であると考えられるため						24年度
(原因分析) ・客観指標評価は、事業所の立地件数が増えたものの、大規模な事業所の立地がなかったため、雇用人数が減少し、b評価となった。 ・産業技術研究所においては、平成23年度より試験分析、技術指導の件数が増加し、a評価となった。 ・市民生活実感評価は、b評価であり、京都は産学公連携による事業環境の整備を進めているという認識が概ね市民に浸透しているものと思われる。 ・このため、総合評価はA評価となった。						23年度

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		25年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		24年度 決算額	25年度 予算額		
1	京都高度技術研究所助成	175,442	159,569	普通	産業観光局
2	戦略的企業誘致の推進	129,161	222,030	かなり良い	産業観光局
3	新事業創出型事業施設等活用推進事業	56,254	62,760	かなり良い	産業観光局
4	京都市勧業館(みやこめっせ)	31,632	30,137	—	産業観光局
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・京都の有する地域資源・産業集積といった強みを生かし、ワンストップ相談窓口の強化などにより、事業環境の整備や研究開発型企業をはじめとする企業の誘致に取り組む。
・産業技術研究所においては、研究所の事業推進計画である「京都技術フロンティア2012」の趣旨を踏まえ、研究所の技術的強みを活かし、多様なレベルの技術課題に対して具体的な提案ができる「技術支援機関」及び「技術プロデューサー」としての役割を果たしていく。

施策名	0803	京都の強みを生かした事業環境の整備
-----	------	-------------------

指標名	正規雇用者増加数（人）
-----	-------------

担当課	新産業振興室	連絡先	2 2 2 - 3 3 2 4
-----	--------	-----	-----------------

1 指標の説明

「みんなでめざす10年後の姿」の一つである「働くことを希望するすべての人が就業できるまち」につながる、新增設された事業所における雇用者増加（予定）数

2 指標の意味

雇用の場の確保の状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：市内の1年間における指定した補助対象事業の正規雇用者増加（予定）人数
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	23年度	24年度		数値	根拠	達成度
数値	332	174	158人減	224	過去3年間の平均値	77.7%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値					

備考	事業所の新增設後に雇用者増加の実績を随時把握するため、数値に変動がある場合は次年度以降に更新する。
----	---

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

6 基準説明

各年度の具体的な数値目標の設定が困難であるため、過去3年間の数値の平均との比較で評価する。なお、景気の動向等に左右されることから、80%以上の場合をa、以下20%刻みで基準を設定した。
最高値 332人（平成23年度）
平均値 224人
最低値 166人（平成22年度）

7 評価結果

23	24	25
a	a	b

指標名	産業技術研究所における企業・事業所からの依頼試験・技術相談の実施件数（件）
-----	---------------------------------------

担当課	産業技術研究所	連絡先	3 2 6 - 6 1 0 0
-----	---------	-----	-----------------

1 指標の説明

ものづくり産業に対する技術支援の根幹を担う依頼試験・技術相談（※）の活動実績
※製造工程や製品の品質管理等に関する技術的な相談や指導及びこれに付随した試験分析

2 指標の意味

産業技術研究所における技術振興の取組状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：依頼試験・技術相談の処理件数を集計したもの
出典：産業技術研究所業務報告

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	23年度	24年度		数値	根拠	達成度
数値	11,320	13,168	1,848件増	12,000	過去3年（平成19年度、平成20年度、平成21年度）の平均値を元に算出	109.7%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値					

備考	
----	--

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

6 基準説明

各年度の具体的な数値目標の設定が困難であるため、過去3年間の数値の平均との比較で評価する。なお、景気の動向により、ものづくり中小企業からの依頼試験・相談件数が左右されることから、目標値の80%以上の場合をa評価とする。平成19年度、平成20年度、平成21年度は繊維技術センターと工業技術センターと合計した件数、平成22年度は、移転のため件数に変動があるので省いている。
最高値 14,394件（平成19年度）
平均値 11,000件
最低値 10,051件（平成20年度）

7 評価結果

23	24	25
-	a	a